



「に」げずに
「し」んじて
「かん」しゃして
「き」ょうりよくする

7月



加古川市立西神吉小学校

学校通信

No.60

～ 梅雨の季節 ～

昨年の梅雨入りは、記録的な早期梅雨入り（5月17日）でした。今年の近畿地方の梅雨入りは6月4日で、平年（6月6日）より2日ほど早い、平年並みの梅雨のスタートとなりました。ここ数年、梅雨入りしたにも関わらず、雨の日が少なかったり、かと思えば短時間にスコールのように降ったりという梅雨だったかと思えます。今年の梅雨は、古くから「五月雨（さみだれ）」「青梅雨（あおつゆ）」などの言葉で表現される梅雨らしい梅雨で、シトシトと雨の降る日が多いです。台風シーズンにも入り、大雨だけでなく、防風等にも警戒が必要です。今年の近畿地方の梅雨明けはまだ発表されていませんが、例年の目安は7月19日頃で、まだしばらくは雨の日が続くようです。

さて、西神吉っ子たちは、どの学年の子ども達も、朝、サuntime、お昼休みと、広い運動場で元気に体を動かして遊ぶ子ども達です。梅雨空が続き、「なかなか外で遊べず、子どもたちはストレスをためたり、残念がったりしているのではないかと、心配していました。しかし、そんな心配は無用だったようです。雨の日の休み時間、校舎を回ってみると、そこには自分たちで工夫して楽しい時間を生み出している子どもたちの姿がありました。教室では、雨の日用に用意されたトランプに熱中したり、理科の次の活動に向けてわくわくしながら準備を進めたりする姿が見られます。また、3年生は自主的に音楽室へと足を運び、「先生、リコーダーを教えてください！」と熱心に練習に励んでいました。さらに感心したのは6年生です。全校生が七夕の短冊を飾れるようにと、みんなのために一生懸命、笹に結ぶ「紙漉り（こより）」を作っていました。西神吉っ子たちは、雨の日のブルーな空気さえも、自分たちの力で「楽しい時間」へと変える名人のようです。

誰かに与えられた楽しさではなく、自分たちで考え、動き、時間を豊かにしていく。そんな主体性と思いやりのある姿を、これからも大切に育んでいきたいと思います。

西神吉っ子の一コマ



雨の日も工夫して
楽しく過ごす西神吉っ子！！



7月1日（水）に西部ブロック交流会にひなた学級のみなさんがオンラインで参加しました。今年は、西神吉小学校が司会、進行も担当しました。そして、各こども園、小学校、中学校からのダンス、クイズなどの出し物で、楽しい時間を過ごしました。

ひなた学級からの出し物は「西神吉小学校の紹介」でした。みんな、よくがんばりました！

